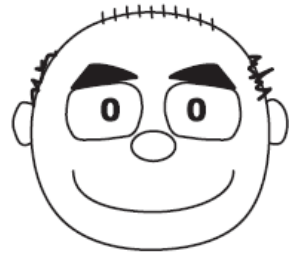


すくすく



NO.59 平成27年4月1日発行

赤ちゃんの不思議な力

院長 金原 洋治

昨年末、開業前に勤務していた済生会下関総合病院の周産期母子センター設立30周年（実際は34年）記念パーティーに参加しました。開設したのは昭和55年ですので今年の5月で35年になります。立ち上げの時の産婦人科部長の是澤正寛先生と小児科部長の私に感謝状をいただき感激しました（写真）。これまで、周産期母子センターやかねはら小児科で、沢山の赤ちゃんに出会ってきました。今でも、赤ちゃんの持っている不思議な力には驚かせられます。今回は赤ちゃんの不思議な力の一部を紹介します。

赤ちゃんは親を育める力を持っている

皆さんは、初めて赤ちゃんに出会ったとき、小さくて柔らかくて、抱っこするのも怖いと感じた方が多いと思います。とても頼りない存在ですが、周りの人がついお世話したくなるような条件を備えて生まれてきます。お母さんやお父さんは、赤ちゃんから育てる力を自然に引き出され親として育っていきます。赤ちゃんは親を育てる力を持っているのです。周囲の人々が、「このお母さんはまだ若いし大丈夫かな」と思うような方もおられますし、「お母さん自身が、自分は未熟だし大丈夫かな、心配だな？」と思うような場合もあると思います。でも大丈夫、赤ちゃんは不思議な力を発揮して、お母さんの応援団を結成するかのようになんかをつなぎ、一人前のお母さんに育てていきます。私たち小児科医やス



タッフもサポーターの一人として子育ての応援をしたいと思っています。何でもご相談してください。

赤ちゃんは人々の心や世の中を明るくする

赤ちゃんは親を育てるだけでなく、赤ちゃんの周りにいる沢山の人の心を幸せな気持ちにします。気分がむしゃくしゃしているときでも、すべすべのふくらんだほっぺに触ると心も体も柔らかくなります。天使のような微笑みは、魔法のように疲れを癒してくれます。赤ちゃんは、人々の心や世の中を明るくする不思議な力を持っているようです。

赤ちゃんは記憶力がすごい！胎内記憶と誕生記憶

不思議なことに、赤ちゃんは自分が生まれた瞬間の出来事を憶えているようです。3歳前後の子どもに、ゆったりとした雰囲気の中で自分が生まれたときのことを尋ねると、10〜50%の子どもが、我が子に教えたことがないことまで話してくれます。4〜5歳になると記憶の奥底に眠ってしまうのか、話してくれる子の数が減ってくるようです。以前、院内報に「赤ちゃんの記憶―生まれた瞬間のこと」というタイトルで、あるお母さんからお聴きしたお話を紹介させていただきました。帝王切開で生まれた自分のお子さんが4歳の誕生日に目を輝かせながらお話ししてくれた内容でしたが、もう一度紹介します。詳しくは当院のホームページ（院内報No.9に掲載）。

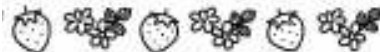


ツーンと鳴ってお顔に当たって痛かった。花火が鳴ったから怖くて運動座りで泣いた。とても暗かった。とても熱くて火傷した。花火が当たって血がいっぱい出た。花火が鳴ったから逃げた。逃げようとしたらズーッと花火がついてきたので怖かった。逃げたら頭から血が出た。先生が頭、お口も全部、お尻も拭いてくれた。お足が痛かったから、右足。先生がテープを巻いてくれた。足首。という、とても感動的なお話でした。

私が園医をしている保育園で、このお話をさせていただきました。後日、30%くらいの子どもが生まれた瞬間のことを話してくれた」と報告いただきました。おなかの中で経験したできごとを話してくれる子もいたそうです。お父さんお母さん、お子さんに聴いてみてください。生まれたときのことを！



ココロ・ココロ



～こころ と からだ～

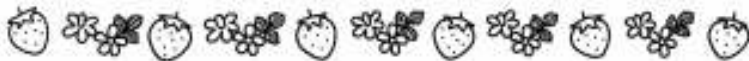
「遊び」について。

みなさんの子どもさんはたくさん遊んでいますか。「遊び」は子ども達の成長にとって欠かせない要素の1つです。人間はこの遊びを通して、知識や技術、コミュニケーションなどを少し



ずつ学んでいきます。また、心理学の世界でも、遊びは「心の浄化作用(カタルシス)」として心の健康のためにとっても大切だと言われています。つまり、好きな遊びに無心で没頭することは、抑えられていた感情や葛藤を非言語的行動として発散しているということ。遊んでばかりで困るということをよく聞きますが、遊べるということは、それだけ健康な証拠です。時には、そんな子ども達の遊びの世界に参加してみてください。ただ遊んでいるように見えても、何を考え、どのような気持ちになり、どんな表現をしているのかがより分かってくると思います。同じ遊びに見えても、その時の心の状態でそれぞれ違っているはず。嬉しい気持ちをより満足させてくれるのも遊び、悲しい・辛い気持ちを消化してくれるのも遊び。いくつになっても遊べるということは心にとってはとても大切なことです。大人もちょっと疲れたな、という時は遊び(好きなこと)でリフレッシュしていきましょう!

(がじゅまる)



病児保育室「ここいえ」通信

ここいえは4月になって3年目を迎えました。1年目は延べ1200人を超える利用だったのが、2年目は延べ約1400人以上の方に利用して頂きました。1年経つと利用されるお子さんの顔ぶれもがらりと変わります。入園して病気ばかりもらって心が折れそうになるというお母さんも安心して下さいね。1年経つごとにお子さんはだんだんと強くなりますよ。

「〇〇ちゃん最近来ないね」というのは職員同士でよくある会話です。「会えない寂しさは元気な便り」で、ここいえでは嬉しいことなのです。久しぶりに会うと、「おしゃべりが上手になったね!背が伸びたね!」と成長しているお子さんたちにびっくりさせられます。

この4月から利用対象が小学校6年生までになりました。お母さん方と一緒に、お子さんの成長を愛情一杯でサポートさせて頂きます。まだまだ若い施設ですが、これからも勉強を重ねてよりよい環境が提供できるよう、スタッフ一同頑張ります!



編集後記

4月になる瞬間。新しい何かを感じ、ワクワクしながら階段を一段『ぐんっ』と昇った子供の頃。

最近は何月の坂道を、えっちらおっちら進むだけ。昇りゆく快感を味わうために、今もまだ新しい目標を探しているところ……

トリッチトラッチ

麻疹・風疹混合(MR)ワクチンを接種しましょう

全国的に、麻疹の流行が続いています。対象年齢のお子さん、早めに接種を受けましょう。

I期	満1歳～2歳未満
II期	小学校に入学前1年間

※予約は不要です。

水痘ワクチンの対象年齢が変わりました

対象年齢	1歳～3歳未満
回数	6ヶ月間隔で2回

※水ぼうそうにかかったことのある方は対象外です。

※完全予約制です。

どちらも定期接種期間以外の方は有料となります。

必ず母子手帳をお持ちください。

おすすめの本

『どうぶつえんガイド』(福音館書店)

作・絵 : あべ弘士

デザイン: なかのまたたか



旭山動物園で、20年以上動物のお世話をしながら絵を描いてきたあべさんの絵本です。

それぞれの動物にぴったりの画法で描かれた魅力的なページに、動物豆知識が満載です。

春ですよ!この本を持って、動物園を百倍楽しんでください。



栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時から16時まで

4月 8日(水) 4月15日(水) 4月21日(火)

5月13日(水) 5月26日(火)

6月10日(水) 6月17日(水) 6月23日(火)



院長不在日 学会・講演・会議のため不在です

4月17日(金) 終日不在

4月18日(土) 終日不在

5月16日(土) 終日不在

6月27日(土) 終日不在

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場所 下関市大学町2丁目(市大近く)

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2-28-20

083-252-2112

HPURL <http://members.jcom.home.ne.jp/2814964811/>